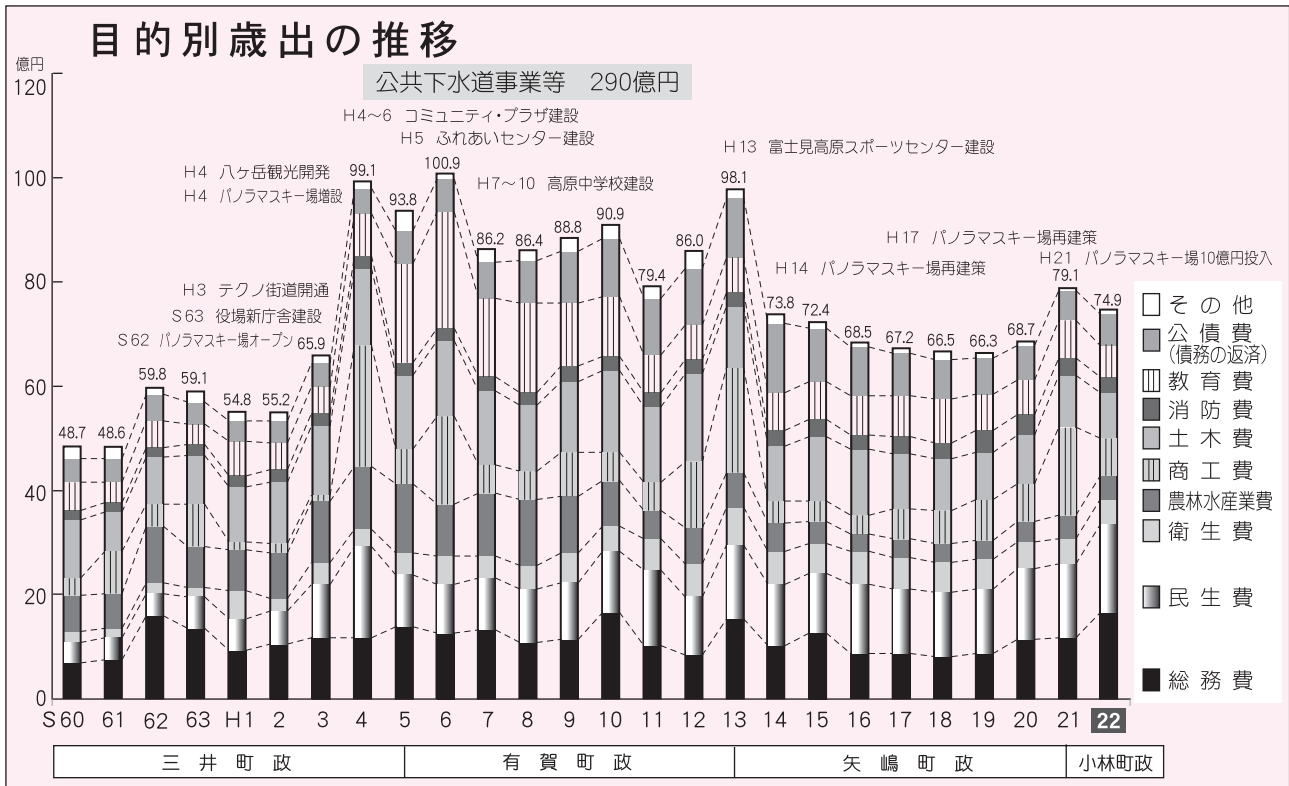
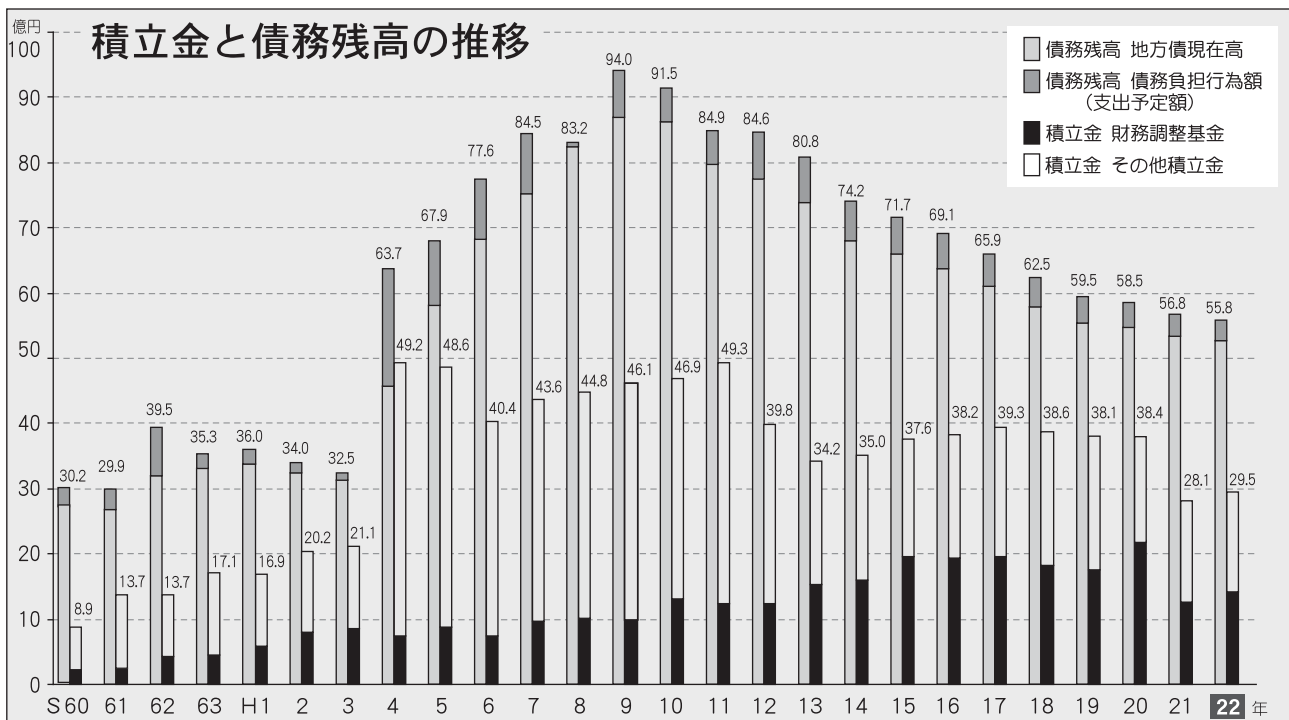


町の財政状況の推移

9月議会は、決算議会とも言われています。これを機会に、昭和60年度からの「目的別歳出の推移」と「積立金(貯金)と債務(借金)残高の推移」を見てみましょう。



平成4年から13年にかけて、総額で毎年100億円近い歳出となっています。これは、この間総額300億円近い額を投入し下水道事業を行ったこと。また、いくつか「ハコモノ」を建設したことによります。その後は、大型投資はなく60億円近くまで下がる時期もありましたが、平成21年度は国の経済対策などにより、70億円を越しました。平成22年度はパノラマに10億円投入したことが影響しています。



平成4年度から下水道事業を始め公共投資が多く、債務(借金)も100億円近くになりましたが、その後は着実に債務を減らしてきました。平成21年度に積立金(貯金)が10億円減っているのは、パノラマに投入した分です。